

令和4年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2022017

プロジェクト名 科学で色づく炎の明かりで地域を色づけたい

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、コロナ禍で静まりかえってしまった地域を科学の力で温めたいという理由から生産工学部・工学部・文理学部の学生が協力して子供たちに科学や技術について教育的に伝えるとともに、地域交流を増やしたい、地域全体を盛り上げたいと思い企画した。内容としては、10月1日に炎色反応を利用したろうそくを小学生と一緒に手づくりし、それらをライトアップするキャンドルナイトイベントを11月3日に開催する。

プロジェクトの結果・成果

プロジェクトを開催するにあたり、プラッツ習志野中央公民館の方と話し合いをし、地域の小学校にチラシを配布した。また、夏休み中には広報活動としてチラシを配る予定の小学校の児童会を訪問し、子供たちと触れ合いながら広報活動を行った。同時並行で、炎色反応のろうそくを試作していたが、炎色反応のろうそくを作るのは難しいと判断し、展示用の普通のキャンドル・お持ち帰り用の透明なキャンドルを作るワークショップに一部変更した。

結果として、募集定員がすべて埋まりワークショップを開催することが出来た。そして、11月3日のライトアップイベントでは、川をイメージしてキャンドルを配置し、炎色反応のろうそくが出来なかった分、自分たちで色の変わる炎を学ぶ実演会もイベント項目として行った。ワークショップに参加した方々だけでなく、その場所を通りかかった通行人の方々など地域のお年寄りから子供まで、様々な人が集まってくれた。また、キャンドルのワークショップには日大新聞社、習志野朝日、ライトアップイベントにはそこにもう1社習志野経済新聞の3つの新聞社の方からインタビューを受け、各紙に掲載された。

ライトアップイベント終了後、使用したキャンドルは日大生のやってみたいを実現するプロジェクトに採択され、同じくキャンドルを使ったイベントを企画している、工学部の学生メンバーにキャンドルを贈呈し、プロジェクト間の交流を図ることが出来た。また、2月8日には習志野市から表彰された。

活動写真



写真1

Zoomでのメンバー
会議の様子



写真2

児童会の様子



写真3

キャンドル
ワークショップの様子



写真4

ライトアップイベント
の様子



写真5

表彰された様子